

〔環境審議会の開催状況〕

開催日時 平成22年7月27日(火)14:00～15:30
開催場所 市役所1階 市民ホール
出席者 北尾 邦伸 会長ほか11名

〔主な意見〕

1. 市民参加による計画策定を

- 亀岡市が率先してやることも大事だが、市民にまで取組の輪を広げることがより大事である。これは亀岡だけでなく京都市、京都府、日本全国でも同じことが言えるが、市民が取組むといったことなかなか見られない。たとえ小さなことでも住民組織が協力し、一人でも多くの人々がそれに参加できるようなことをした方がより効果があると思う。

2. アンケートについて

- アンケート統計にはせめて3%くらいの数字は必要である。亀岡市の人口を考えた場合、約3%の3,000人程度に意見を聞くというのが妥当であると思われる。
- 選択肢を広げるなど、回答しやすいよう工夫をすること。
- アンケートには限界もあるが、その中で意見を出し合うとみんなが参加しやすくなると思われる。

3. 上位計画との整合性

- 亀岡市の場合については、いま現在、総合計画の策定作業に入っていて、目指す都市像として「水・緑・文化が織りなす 笑顔と共生のまち かめおか」というサブタイトルがついていることから、環境は非常に重要になってくる。環境には、大きな項目として自然環境・地球環境・省エネ・資源・循環・廃棄物処理・景観保全というような項目があるが、これ以外に亀岡には日本で二地域にしか生息が確認されていない「アユモドキ」があり、亀岡の環境のひとつのシンボルでもあるので、そういうこともふまえた中で環境基本計画に盛り込んで作成していくことが必要だと思われる。

4. 現計画について

- 現計画についての達成状況の点検と分析を行い、新計画に反映させることが必要である